

# 奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

11月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

## 「安心して学校生活を送るために！横浜子ども会議より」

副校長 和内 昭子

10月20日（木）の集会では、「横浜子ども会議」で話し合われてきたことを6年生の さんが奈良の丘小学校のみんなに提案しました。

みなさん、安心して学校生活を送れていますか。ぼくは、心配なく過ごせています。ですが、そうでない人も中にはいると思います。この様なことをテーマに話し合う横浜子ども会議に参加し、どうすればよいか、ぼくたちにできることを話し合い、4つのキーワードを作りました。

### 1 身近なところから「楽しいを増やす。」

### 2 「優しい言葉」+「信頼できる人」=「優しい環境」

このキーワードを考えた理由と実現するためにどうすればいいかを説明します。

まず、「楽しいを増やす」というのは、そもそも笑顔が増えればいじめなどがなく、安心して過ごせると思ったからです。これは、子ども会議の他のグループの人が言っていたことですが、クラスでみんなを笑わせて明るくする活動をしているそうです。そうしたら、仲が深まり悪口などあまり聞かなくなったようなので、ぼくたちも今、レクやなかよしグループで遊ぶことを続けていったらいいと思います。

二つ目は、「優しい言葉」です。「優しい言葉」というのは人を励ますなど相手を良い思いにさせる言葉だと思います。それは、挨拶だったり、応援の言葉だったりたくさんあると思いますが、やはり、声かけが非常に大切だと、ぼくたちは話し合いました。声かけとは、困っている人にどうしたのか聞いてみて、もしかしたら、それが解決できるかもしれないから、声かけを大事にしてください。

そして、「信頼できる人」というのは、いつでも相談のつてくれそうな頼れる人をつくることです。それが親友だったり、家族だったり誰でもいいです。もし、困ったことがあったら、誰かに話してみることが大切だと思います。

最後にこれらにつながる「優しい環境」です。今の二つのことを意識すれば、優しい環境ができ、いじめや、悪口は無くすることができると思います。さらに、最近、嫌なことがあっても相談しない人が多いようなので、みんなが相談しやすい「優しい環境」というのをつくったら、よりよくなると思います。

ぼくが話し合いを通して考えたことは、みんなの助け合いがあれば安全になおかつ楽しく生活できると思いました。そして、嫌なことが起こった後ではなく、起こる前に対処できると思います。

いじめ、悪口などが無い生活を送るためには、今、伝えたことを少しでも考えて一人ひとりがやってみてください。

奈良の丘小学校 6年

「横浜子ども会議」では子どもたちが自分とまわりの人や社会との関係をみつめ、主体的な具体の取組を行う姿をめざしています。28年度は「だれもが安心して生活できる いじめのない社会をつくろう」をテーマにあかね台中生徒会の皆さんと田奈小、奈良の丘小6年生代表者で自分たちにできることは何かを話し合いました。更に青葉区小中学校の代表者が集まり、中学校ブロックごとの報告・話し合いを重ね、考えてきたことを望月さんが提案しています。子どもたちのために、大人の私たちができること「優しい環境作り」に力を注いでいきたいと思っています。